



2009年12月21日

各 位

会 社 名 株式会社ココカラファイン ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 塚本 厚志
(コード番号 3098 東証一部)
発 信 元 取締役経営企画室長 重田 陽平
(TEL 06-6267-8129)

会 社 名 株式会社サークルKサンクス
代表社名 代表取締役社長 中村 元彦
(コード番号 3337 東証一部・名証一部)
発 信 元 広報IR秘書室部長 吉田 雅浩
(TEL 03-6220-9004)

株式会社サークルKサンクスと 株式会社ココカラファイン ホールディングスとの業務提携に関するお知らせ

株式会社ココカラファイン ホールディングス（以下、「ココカラファイン」という）と株式会社サークルKサンクス（以下、「サークルKサンクス」という）は、本日開催の両社の取締役会において、業務提携を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

サークルKサンクスは、中京地域を中心に事業展開するユニーグループの一員として、全国38都道府県において、コンビニエンスストア「サークルK」「サンクス」をフランチャイズ及び直営展開しております。

一方、ココカラファインは、2008年4月1日、セガミメディクス株式会社及び株式会社セイジョーが経営統合し設立されました。両子会社を通じて、ドラッグストアチェーン「セガミ」及び「セイジョー」を全国30都府県にて展開しております。

昨今の景気低迷により雇用・所得環境が厳しさを増す中、個人消費の不振とともに消費者はより一層「低価格志向」を強めております。コンビニエンスストア業界においては、市場全体の成長性が鈍化し成熟段階に近づきつつある中、同業だけでなく、スーパーや外食など異業種との競争に勝ち残るため、各社とも新たな商品や販売方法への挑戦、ITイノベーションを通じたサービス商材の多様化により、一店一店の収益力向上に取り組んでいます。

ドラッグストア業界においては、オーバーストア現象により価格競争が激しくなる中、本年6月の改正薬事法施行に伴う異業種の本格参入も見込まれ、M&Aや資本業務提携などを通じた業界再編が加速度的に進行しております。

このような環境の中、両社は、ドラッグストアとコンビニエンスストアを融合した競争力ある新業態の開発、コラボ出店の新たなスタイルの確立、オリジナル商品の共同開発やマーチャンダイジング（MD）相互支援、「登録販売者」資格取得支援などを目的として、広範な業務提携契約を締結いたしました。今後両社が共同、協力し、双方が有するノウハウ、インフラ等をフル活用することにより、新たなマーケットの開拓とともに、チェーントータルの集客力・収益力強化を目指してまいります。

2. 業務提携の範囲と今後の協議内容

両社で設置する「提携実行委員会」のもと、下記の提携範囲ごとに作業部会を設けて、具体的な取組み内容を決定してまいります。

(1) 新業態店の開発

- ① 既存のドラッグストアをベースとした、ドラッグストアとコンビニエンスストアの機能を融合した新業態店「ヘルスケアコンビニ（仮称）」を開発します。2010年度をめどに実験を開始し、ビジネスモデルに磨きをかけ、本格展開のためのプロトタイプを確立します。また、実験店舗は、「セイジョー」の店舗から開始し、本格展開にあたっては、「セガミ」の店舗も対象に加え地域を拡大します。
- ② また、早期に多店舗化を図るため、ココカラファインと業務提携している他のドラッグストアなどへの横展開も目指してまいります。
- ③ さらに、既存店だけでなく、北海道・東北などココカラファインの未出店地域も含め、新業態店の新規出店を検討してまいります。

(2) 物件情報の共有と共同出店

- ① 店舗物件情報を共有することにより、両社の出店活動の強化・促進を図ります。
- ② 処方箋・調剤薬局店頭を活用した「ミニコンビニ（仮称）」の出店、コンビニエンスストア内への「ミニドラッグ（仮称）」の出店、処方箋・医療用医薬品の受け渡し拠点としてのコンビニエンスストア活用など、新たなコラボ出店のスタイルを検討します。

(3) 新たな商品・サービス開発と共同販促活動の実施

- ① 両社の売れ筋商品情報を共有・活用することにより、既存のドラッグストア、コンビニエンスストアに双方の売れ筋商品・カテゴリーを導入します。
- ② 主に日用品、化粧品、健康食品などのカテゴリーで、価格及び品質面で競争力の高いオリジナル商品を共同開発します。
- ③ サークルKサンクスが独自に展開する店頭情報端末「カルワザステーション」やマルチコピー機、ATM等のドラッグストアへの導入、ドラッグストア通販商品（医薬品を除く）の留め置き拠点としてのコンビニエンスストア活用など、ITを活用したサービス商材の相互供給を検討します。
- ④ ヘルス&ビューティケア（H&BC）やファーストフード、デイリーフーズ等の両社が得意とするそれぞれの商品カテゴリーについて、商品改廃・棚割り・物流・販促等に及ぶトータルのマーチャンダイジング（MD）支援を相互に実施し、コーナー展開による売り場活性化を目指してまいります。

(4) 人材の育成と交流

- ① ココカラファインが実施する「登録販売者」試験対策研修を、コンビニエンスストア加盟者や従業員、本部社員にも開放します。
- ② また、新たに「登録販売者資格合格パッケージ（仮称）」を設定し、1年間の医薬品販売実務経験、試験対策、合格後のフォロー研修を含めた、トータルの資格取得支援策を検討してまいります。

3. 今後の見通し

具体的な取組み内容については、今後両社で協議され順次決定してまいります。連結業績に与える影響につきましては、具体的な取組み内容が決定され次第、必要に応じてお知らせいたします。

4. 両社の概要

(1) 商号	株式会社 サークルKサンクス	株式会社ココカラファイン ホールディングス
(2) 主な事業内容	コンビニエンスストア「サークルK」「サンクス」のフランチャイズ事業及び店舗経営等	ドラッグストアチェーンの運営等を行う子会社及びグループ会社の経営計画・管理・仕入ならびにそれに付随する業務
(3) 設立年月日	2001年7月2日	2008年4月1日
(4) 本店所在地	愛知県稲沢市天池五反田町1番地	東京都大田区山王2丁目1番7号
(5) 代表者	代表取締役社長 中村 元彦	代表取締役会長 瀬上 修 代表取締役社長 塚本 厚志
(6) 資本金	8,380百万円	1,000百万円
(7) 発行済株式数	86,183,226株	19,922,156株
(8) 純資産	130,656百万円(連結)	42,809百万円(連結)
(9) 総資産	222,305百万円(連結)	79,682百万円(連結)
(10) 売上高	940,232百万円(連結)	170,116百万円(連結)
(11) 店舗数	5,263店(連結)	640店(連結)

(2009年2月28日現在)

(2009年3月31日現在)

※ 両社に資本関係はございません。

以上

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ココカラファイン ホールディングス 経営企画室 TEL 042-368-8707
株式会社サークルKサンクス 広報IR秘書室 TEL 03-6220-9004